



The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 18 | Issue 4 | June 2015

➡ In this issue...

- ▶03...5年生がMYPへの転換準備中
- ▶04...1年を通しての探求
- ▶05...KIPSでの一年目を振り返って
- ▶07...有料アカデミックサポートプログラム
- ▶09...Habitat for Humanity
- ▶10...スプリング・ビーで学んだこと
- ▶11...9年生キャンプ
- ▶12...World Scholar's Cup
- ▶17...Across the Vast Stories...
- ▶21...K3 Reading Rascalsクラブ
- ▶26...卒業生大学合格実績
- ▶29...Family Day 2015

学校長より...

KISTでの、またも素晴らしい一年！

また、一年の終わりが目の前にある今、来年度を迎える前に今年度の成果について振り返ってみたいと思います。今年も本校にとって素晴らしい一年と鳴りましたことを皆様にお礼申し上げます。

私たちの、最も記憶に新しく、また誇らしい成果は2015年度の卒業生です。今年は29名がディプロマプログラムを終了し、第3次教育へと新たに羽ばたいていきます。KISTを代表し、卒業生のご家族すべてにお祝い申し上げます。ご家族皆さんにとっての新たな教育への幸せな旅立ちを心からお祈り申し上げます。KISTはいつもここにあり、卒業後の皆さんの体験をお聞きするのを楽しみにしていることどうぞ覚えてください。

生徒の数学力サポートに関する取り組みは継続しており、素晴らしい成果を達成しています。学校が導入した数学力診断テストにおいて、より多くの生徒が期待値を達成しているだけでなく、外部の統一テストにおいてもKIST生は非常に高い得点を達成しています。今年度は10年生全員がPSAT試験を受験し、そのうち80%近くが試験の数学セクションにおいて70%以上を達成し、更にそのうちの35%が90%以上の正解率を達成したことを大変嬉しく思っております。また、6-9年生は2月にISAを受験しました。この試験の結果は学年末の成績表とともにご家庭にお渡しいたしますが、こちらにおいても数学部門の成績は非常に良好でした。全ての学年においてKIST生の数学部門における平均点は本テスト受験者の世界平均を大きく上回っております。導入後たった2年で数学に関する取り組みは生徒の成績に顕著な結果を与えるに至りました。KISTではこれからも数学への取り組みを継続し、この分野における生徒の更なる学力向上を目指してまいります。この取り組みの成功は学校コミュニティの皆様のご協力によるものです。皆様のご協力に深く感謝いたします。また、私たちの誇りである生徒達にも心からの感謝を送ります。

次のページに続く

Staff Quote

「教育者として、私たちは生徒にふさわしい学習を提供する責任を負う。」

—Kevin Yoshihara

DATES TO REMEMBER



June 2015

- 8 (G6-G11) Mathematics and science day
- 9 (G5) Promotion ceremony (*Evening)
- 10 (G5-G11) Peer student-led conferences
- 10 (S) Secondary awards assembly
- 10 (G10) Promotion ceremony
- 10 (K1-G11) Semester 2 reports issued
- 10 (W) Last day of school for students (Half day for students)
- 11-26 Office open
- 15-26 Summer day camp
- 29-Jul 24 Office closed

July 2015

- 27-Aug 7 Summer academic program

August 2015

- 13 (K1/K2/K3) Parent welcome night
- 17 (W) First day of school for all students
- 17 (G6-G10) Mathematics diagnostic testing
- 18 (G1-G5) Mathematics diagnostic testing
- 19 (G1-G5) Parent welcome night
- 20 (G1-G5) English diagnostic testing
- 21 (G6-G12) Parent welcome night



KIST is an IB World School

前ページの続き

また昨年は数学に続き、英語で同じ取り組みを開始いたしました。昨年度末にエレメンタリー及びセカンダリーの生徒は、英語における取り組みのためのデータ収集のために、英国のKey Stage診断テストのリーディングを受験いたしました。今年は英語においてより良く生徒をサポートし、成功に導くためのデータ収集を目的として、エレメンタリー・セカンダリーの生徒は、Key Stage 診断テストのリーディングとライティングを受験します。さらに、LEAPの英語サポートプログラムに加え、サマースクールでの英語サポートを拡大し、セカンダリーでは来学年度からアカデミックライティングは追加サポートを必要とする生徒のために、授業時間に組み込まれた形で提供されます。生徒を成功に導くための英語に関する取り組みへの皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

秋にはCISの認可のためにCouncil of International Schools (CIS) の代表者の方々をお迎えいたしました。訪問チームはKISTの認可に関して本校の様々な関係者との面談を行いました。また、関係者の皆様のご協力のおかげでKISTは2015年度の1月にCIS候補校としての地位を取得し、2016年の11月に再び認可審査チームをお迎えいたします。それまでの間、KISTスタッフはCISのself-study過程に熱心に取り組んでおり、KISTがCISの評価基準に沿っているかを判断するための更なるデータ収集のために何名かの保護者の方にご協力をお願いする事があるかもしれませんが、皆様にはCIS認可のためにご協力いただきありがとうございます。本人かを取得することにより、KISTの世界的な評価が高まり、ひいてはKISTの卒業生により多くの機会を提供することに繋がると考えております。

コミュニティ皆様のご支援ご協力のおかげでKISTは毎年様々な分野で成長を遂げております。今年度、PTAは学校行事のサポートだけでなく、独自の活動も数多く実施いたしました。非常に多くの時間を費やし、PTA及び学校活動を支えてくださいましたPTA役員及び委員会長の皆様に感謝いたします。KISTコミュニティの精神と真価は今年度のKISTivalの記録的参加者4000名と、8,000,000円の売り上げが示していると思います。また、今年度のNew Year's party には公式の相撲の呼び出しさんにもご参加いただき、これまでで一番多い力士の皆様にもご参加いただきました。KIST は毎年力士の皆様のご参加を調整くださっております坂本家の皆様のご好意に大きな感謝を奉げます。力士の皆様意外にも多くの保護者の皆様がお餅の準備をお手伝いくださいました。皆様のご協力のおかげで生徒達(とスタッフ)にとって本当に活きた異文化体験の一日となりました。皆様本当にありがとうございました!

多くの課外活動を提供するとともに、KISTでは今年度学校行事にキャンプを再導入できたことを嬉しく思います。5・7・9・11年生はクラスでの経験を更に深めるためのキャンプに

参加することが出来るようになりました。キャンプの準備だけでなく引率を行ってくれる先生方にも感謝します。また、これらの校外活動において立派に学校を代表してくれる生徒達にも感謝の気持ちでいっぱいです。また多くの参加希望者がいらっしやいましたので、外部業者による土曜のコンピュータプログラミング講座を開講することができました。来年度もこのようなワークショップを年2回実施する予定であります。今年度の成功体験をもとに、エレメンタリーの生徒を対象に外部業者による月曜の短期コーディングワークショップをさらに拡充する予定です。

また、昨年度の顕著な成果として日本橋浜町に新規開校したプリスクールKIPSがあります。KISTの行事にKIPSの生徒達が参加し、KISTコミュニティと経験を共有することはすばらしいことだと感じております。私たちの姉妹校の更なる成功を楽しみにしております。

2014-2015年度の成果をこの限られた紙面で全てお伝えすることはできません。ですが、こちらでお伝えした一部の内容によって其々がさらなる振り返りを行うきっかけとなり、昨年コミュニティとして達成できたことにさらなる強い誇りを持つことができればよいと望んでいます。また同時に、KISTの成功に貢献して下さった全ての方々についてふれることもできません。この一年、KISTに貢献、ご協力して下さったすべての皆様に**大きな感謝**をささげます！今年度は本当に学校にとって素晴らしい一年でした。

また、最後にもう一つだけ特別なお礼の言葉を述べさせていただきます。保護者・生徒・学校の強い信頼関係は生徒が能力を発揮、教室での成功、に不可欠である一方、学校のコンサート、課外活動、放課後の個人指導から請求書の発行にいたるまでKISTとKIPSでの全ての活動にはKIST及びKIPSスタッフの努力と貢献なしには始まりません。KISTおよびKIPSコミュニティ全てを代表し、KIST/KIPSのスタッフ全員に、日ごろの貢献、努力、熱意、生徒と学校へのサポートに対するお礼を伝えさせていただきます。あなた方と共に学び、働くには最高の喜びです。あなた方が、これまでの働きに値する素晴らしい夏を過ごされることを望んでいます！

休暇を前にして、皆様が安全でのんびりできる、家族やご友人との最高の時を過ごされますようお祈りいたします。サマースクール安価者の皆さんには7月に、そして2015年8月17日には全員と学校でまた会えることを楽しみにしています！

Jeffrey Jones
Head of School



エレメンタリースクールニュース

優しく平和に

人をからかうことや、いじめについて話しましょう。いいえ、それよりもっといいこと、それらについて話さず、お互いを気遣うことについて話しましょう。そうです、学校コミュニティの全員のことを思いやり、気遣いましょう!見たくないことに着目するのではなく、何が見たいかについて考えましょう。私たちは学校コミュニティ全員、生徒、保護者、教員がお互い思いやりと場所が見たいのです。

5月に、私たちは幸運にもMr Kazu Haga をKISTにお迎えし、2年生から5年生までに講演をして頂く機会を得ることが出来ました。Mr Haga はカリフォルニアのオークランドにある [East Point Peace Academy](#) の創設者です。彼の組織ではトレーニングや教育、非暴力、紛争調停による平和的な文化の実現を目指しています。

講演中、Mr Hagaは個人がいじめ、またはそれに類した行為を行ってしまう背景的要素についてお話してくださいました。それによると、不幸であると、人はなかなか他者に優しくはできないようです。専門家によると、子供によるいじめは学校や家庭でのストレスのために不満や不安を抱えている個人が行う可能性が高いそうです。2004年から2009年までに行われたいじめの研究で、「誰かがいじめられているのを見



た時に止めに入りますか」と聞かれた調査対象のうち、日本人の5年生から8年生(中学2年)は殆どが止めに入らない(介入しない・無視をする)という結果が出ています。

私は、一度いじめとは何かを認識できれば、お互いをより助け合うことが出来ると確信しています。「いじめとは何か」ということをより理解するために制作したこちら [Please watch this video](#) をご覧になり、お子さんと是非話し合われてください。子供たちの中に他者に対する思いやりの心を育てることは親としての義務です。Mr.Hagaが講演でおっしゃっていたように、**お互いを思いやることはいじめを減らす一番の方法です**。Mr Bradley と私がよく言っているように、人類が覚えておくべき最も重要な言葉は「優しく!」なのです。

Kevin Yoshihara
Elementary School Principal

Sugimori, S. (2012, December 3). Anatomy of Japanese bullying (日本のいじめ解剖)。2015年5月19日以下より検索: <http://www.nippon.com/en/currents/d000054/>

5年生がMYPへの転換準備中...

年度末が近づく中、5年生50名は来年度の中等部への進学準備をはじめています。ここ数週間、5年生と担任教師はセカンダリーで必要となるスキルの見直しを行っています。

5年の生徒達は来年度の学習について知るために6年生を訪問する機会を得ました。それぞれの生徒は教室に戻り、6年生から学んだことをクラスメートと共有します。

個々のクラス訪問に加え、生徒達はMYPコーディネーターのMr WhiteとのMYPオリエンテーションにも参加しました。このセッションでは現在の6年生から、実際にどのようにMYPへの転換をしていったかについて経験談を聞くこともできました。

転換のためのセッションの最後に、5年生は6年生と昼食を共にし、一対一で彼らの経験について質問をする事が出来ました。



6年生のセミナーリーダー(白いシャツ着用)が6年生下の転換の際に想定される問題について話してくれました。



5年生が6年生の美術の授業で静物画に挑戦しました。

一年を通しての探求

今年度もあと数日で終わりとなる今、保護者の皆様も、生徒の皆さんも夏休みの計画を立てるのに忙しいことと想います。生徒の皆さんは異国情緒漂う場所で泳いだり、山登りをしたり、家でごろごろしながらネットサーフィンすることを夢見ているのではないのでしょうか。それに対して、保護者の皆様は、より学問的な方向性での計画を立てられているのではないのでしょうか。保護者の皆様がしばしば直面する問題の一つに、学年度中に生徒達が努力し、達成したレベルの維持があります。多くの場合、各ご家庭では、伝統的なカリキュラムとのギャップを埋めるために昔の教科書や、インターネット教材をつかったり、プロの家庭教師をお願いしたりするかとおもいます。出来ることは数多くありますが、お忙しいご家族にとっては資料も、場所も、機会もあまりに少ないのではないのでしょうか。

IBカリキュラムは探求を通して子供たちに必要で、且つ実生活に関連付けた学習経験を提供するように作られています。多くの方が、IB教育を家庭で継続して行うことは難しいと考えられるかもしれません。しかし、IB教育は質問とリサーチ、実験と行ったことへの振り返りを基に形作られています。KISTの教員たちは、この一年間で6つの超教科的学習テーマにおいて、数々の新しい発見や関連するテーマにめぐり合ってきました。

興味や関心を示すことは、実り多い探求に導く、一種の脳内信号としての役割を果たす。

B. F. Skinner

これらのテーマは各々が一年間を通して学べるだけの深さと豊かさを有しており、学校での授業だけではカバーしきれないものです。IBでは生徒達はそのその想像力の許す限り、深く・広い調査・探求を行うことを奨励しています。IBカリ



キュラムにはいわゆる「行動」、学んだ知識を実生活に当てはめ、問題解決に繋げる、という要素があります。この要素は主に時間的な制限のため、教員が十分な時間を掛け切れず次の単元に進まざるを得ない部分です。

保護者の皆様には是非お子様の学習に関わって頂きたいと思っております。探求単元とその内容はすでにお子様の成績表、ポートフォリオ、そして記憶に刻まれています。これらを基にお子様がお学ばれている内容についてコミュニケーションをとって頂きたいと思っております。すでに学習した内容をお子様と復習され、どのようにお子様の知識を行動に移せるか、また世界をより深く理解するのに役立てることが出来るか一緒に考えて頂きたいと考えております。夏休み中の学習に関する解決策はお子様の机の上にあるのかもしれませんが。

Clay Bradley
PYP Coordinator



PTAニュース

5月27日にAGMが行われました。毎年、AGMの出席率は芳しくないのですが、今年は役員選挙をオンライン投票で済ませたことも一因なのか、参加者がとても少なく残念でした。来年以降、多くの保護者の皆さんに出席していただけるよう、改めてご協力をお願いします。

また、5月29日のG12の卒業式において、PTAから卒業生へ記念品を贈呈しました。例年は生花のコサージュでしたが、今年は事前にアンケートを実施して、写真フレームを贈りました。(右の写真) 余白に同級生や先生のサインを書いてもらって、学校生活の思い出として欲しいと思っています。今回、K2のKojikaファミリーに協賛をしていただきました、ここに感謝申し上げます。

最後に、今年も一年間、PTAへのご理解・ご協力、有難うございました。来年もよろしくお願い致します。



KIPSでの一年目を振り返って.....

時が過ぎるのは早いものです。KIPSは一からのスタートをし、素晴らしい学校へと成長を遂げました。全ての教員やスタッフは新しい学校の確立のために、協力し、貢献してきました。私は今でもオリエンテーションの日にこれからの大きな挑戦に向けて多くの心配や質問を抱えていた事を覚えています。しかし、KIPSの皆は共に働き、貢献することで学校の全ての分野で高いレベルを維持することができました。

スタッフメンバーはそれぞれの専門性や意見を活かして幅広く、楽しい活動を提供することに貢献しました。Ms Amberは「トリック・オア・トリート」、ゲーム、フェイスペインティングなどのハロウィーンパーティを企画しました。私はK2のクリスマスパーティを企画し、生徒がクリスマスの図画、工作や飾りを作り、家に持ち帰ることが出来るようにいくつかのステーションを提供しました。また、K2ではお花見パーティを企画し、全てのクラスが参加し、何かを提供することが求められました。ナーサリーはおにぎり、K1は大福とフェアリーブレッド、K2はフィリピンのマカロニ・ソパ、K3はホットドックを作りました。教員や保護者、スタッフは世界中の様々な料理を楽しめるよう、色々な料理を提供しました。

生徒たちは遠足やその他の学習機会を通して学ぶ事に深く関わってきました。学校にナーサリーを導入したことは大きな成功でした。K1の生徒たちは過去と現在の家・家庭についてより深く理解するために深川江戸資料館を訪れました。K2の生徒たちは家族について教員やスタッフにインタビューを行い、各クラスの人数について調査を行いました。来る新年度の学習準備のためにK3の生徒たちはKISTのK3のUOIに定期的に参加しています。生き物についてより多く学ぶために、各クラスでオタマジャクシを飼育し、蛙になるまで世話をしました。蛙になった後は自然に帰しました。これは生き物の世話をし、どのように成長するかを観察することができる素晴らしい方法でした。

KIPSには校庭がないため、子供たちは地域の公園に行き、遊んだり、足つぼエリアを歩いたりするを楽しみにしています。学校の屋上はMr Lukeが数字や文字、形を描いてくれ、また、子供たちがラミネートされた魚の絵を使って魚釣りゲームをする池を作ってくれて以来、素晴らしくインタラクティブな場所となりました。

KIPSの全ての学年の英語のレベルは感動的です。ナーサリーとK1では



教員や同級生と英語で話します。K2とK3では生徒たちは全ての人とほとんど完璧な文章で話し、読み、書くことができます。

KIPSの生徒たちは「冬のコンサート」で演じる初めての機会を楽しみました。彼等はその幼い年齢にもかかわらず感動的な発達レベルを発揮しました。「春のコンサート」では冬に設定した高いレベルで完成したパフォーマンスを再び発揮しました。KISTとKIPSの協力体制と関係性を示す、本当に大成功のコンサートだったと思います。

Claire Yoneyama
KIPS K2 Teacher



エレメンタリーELS

語彙の習得、単語の重視、及び単語との関連付け: 新たな単語の記録法

The Cometの2014年3月号の'Word Work'という記事は、KISTでエレメンタリーでどのように単語を学ぶかについての一例を表していました。しかし、学習の仕組みとしての単語の記録(記憶)はどのように行うのでしょうか。言語における単語数は無限であるため、母国語においてさえ、単語の習得は永遠に続く過程です。それでは、特に新しい単語の習得は、やっと理解できる、全く新しい概念を含んでいることを考慮したうえで、これらの単語・語彙の記録を行うための最適な方法とは何でしょう? KISTの低学年ではword wall (単語の壁)は子供たちがいつでも新しい単語を確認出来る記録法です。学年が上がるに連れて、自身に最もふさわしい単語の記録方法を編み出すようになります。(最近5年生に聞いたところ、一つの記録法を押し付けるべきではないという意見でした)。しかし、まずはお互いの行っている方法を共有し、色々な方法を試してみることも有効でしょう。一例として、エレメンタリーの生徒や、5年生以上の過去の生徒達が行っている様々な記録方法を挙げてみました。

まず、5年生の大多数は、単語帳を現在のポケットサイズのものよりも大きくしたいという意見を持っています。スペースと、記録の利便性を鑑みた上での妥協点として、B5が適切だろうということに落ち着きました。また、記録方法としては、類語や例文、さらには時として単語の意味よりも理解に役立つと思われる絵や図を入れることを多くの生徒が推奨しました。単語の意味を書く場合、数名が、ただ辞書から書き写すより自分の言葉に書き換えることを薦めています。これにより、理解がより深まると思います。また、レイアウト法としては単語の属性に応じて色分けをする、などが分かりやすく人気があるようです。単語帳を何らかの方法で分類することも人気があります。例えば、ある一部分をUOI関連の単語でまとめる、また一部分を算数用語、文学用語にする、またある部分は自由時間や家で覚えた単語(夏休み中も是非続けたいです!)、またある部分は発音記号・連結語、接頭語、語根、という具合です。

最後に、5年生のほぼ全員が行っているのが「他の言語」の欄で、英語以外の母国語や外国語を記入する欄です。たいていの場合、初めて知る単語は全ての言語において初めて知る単語です。私たちは継続的に語彙を深め、概念を学んでいます。単語帳はご家庭で、母国語を



Tatsunori, Hyunjin, Satoshi (5A)が単語帳を使ってお互いに問題を出し合っているところ。

使ってその単語や表す概念についてお話をして頂くための最適なツールです。母国語の発達は認識力の発達や塚言語の速やかな習得に欠かせないものです。そして、単語や概念について話し合うのは純粋に楽しい行為でもあるのです!



Soo Ah (3A)がWonderfully Wise Words bookを見せてくれています。

Rachel Parkinson
Elementary ELS Coordinator



K3B生がすばらしいWords We Know Wallを使ってお互いに単語を教えあっているところ。



Mehak (5B)は今年、分類項目を使って単語帳を活用しました。ルーズリーフには、来年度もっと大きな単語帳に分類項目を上部に記載して活用法するためのプランが書いてあります。

セカンダリースクールニュース

今年度も残すところあと少しです!時間が、特に5月・6月は驚くほど早く過ぎます。The Comet 記載の学校及び学年年度の最後を飾るいくつかの行事についての情報をどうぞお楽しみください。

今年度のカレンダーの変更点は、お子さんのセメスター2の成績表が授業終了の1週間後に郵送されるのではなく、学年最終日に直接お渡すようになったことです。このことで学年の終了をより実感して頂けることと思っております。成績表に加え、各ご家庭にお子さんが受験された直近の学力診断テスト結果を配布いたします。現時点では、2月のISA試験結果を印刷したものを成績表とともにお渡す予定です。また、年度末に受験された6年から9年生までの数学及び6年から8年生までの英語力診断テスト結果については6月中旬から下旬までに各ご家庭に電子データ(メール)にてお送りいたします。

これが、私の校長としての初年度におけるCometへの最終メッセージとなりますが、実はすでに来学年度の準備が

数多く進行しています。私自身と同じく、皆さんもお休みを心待ちにされていることでしょう。旅行をされる方には道中の安全を、日本に残られる方は、KISTサマースクールでお会いできるかもしれませんね!8月17日月曜日の8:45に皆さん全員とまたお会いできることを楽しみにしています。また、保護者の方にご記憶いただきたい日程は8月21日です。この日には2015-16年度の保護者説明会が予定されております。本当にあっという間に来年度が始まってしまいますね!

楽しいお休みを!

Mark Cowe
Secondary School
Principal



有料アカデミックサポートプログラム

KISTのミッションは、質の高い国際教育を手の届く範囲で提供するという信念に基づいています。そのため、KISTでは質の高い教育を、可能な限り抑えた学費で提供するための努力を行っています。

KISTでは通常の授業時間内に、可能な限り生徒をサポートを提供する努力を行っています。そのうちのいくつかは以下のとおりです:

- エレメンタリー・セカンダリー両校において生徒サポートのための英語サポートインストラクターを配置
- 6年から8年生までのサポートが必要と判断された生徒に集中英語コースを提供
- 6年から10年生までのサポートが必要と判断された生徒にアカデミックライティングのコースを提供
- 6年から10年生までのサポートが必要と判断された生徒に追加の数学講座を提供

しかしながら、学費を可能な限り抑えるためには学校が通常の授業時間内で提供できる範囲を超えたサポートを必要とする生徒に関しては有料でのプログラムを提供することになります。有料のアカデミックサポートとしては:始業前・放課後のLEAP,サマースクールのセッション1及び2、セカンダリーで特に追加サポートが必要と判断された生徒を対象とした土曜の補習講座があります。

KISTの目標は2018年にDP平均点36点を取得することであり、この高い目標②到達するためには、生徒達が学校の定めた期待値を達成することが必要となります。そのためにも、通常授業時間内を超えたサポートが必要と判断された生徒は有料の追加プログラムに参加することが求められる場合があります。

コミュニティの皆様が本決定とその背景についてより良く理解し、E-Communicationでも先日お知らせいたしました有料サポートプログラムに関する決定事項をご理解いただくために、KIST Academic Support Programsと銘打った文書を発行いたしました。本文書はKISTが提供する様々な有料サポートプログラムの詳細と、学校がサポートを必要とする生徒をどのように判断するかについての詳細が記載されています。本文書は、KISTウェブサイトからご覧いただけます。

<http://www.kist.ed.jp/node/67>



MYPニュース

今年もまた、MYPの一年が終了します

KIST生、教員、そして保護者の皆様は今年一年熱心にその務めを果たしました。そして来週の水曜日には、非常に実り多かったIB中等過程プログラム(MYP)の一年が終わります。

今年一年、MYP生にとって特筆すべき瞬間がたくさんありました。プログラムのコースすべての見直しが行われ、教員すべてが変更点の実施を行っています。最も大きな変更点は、MYPによって指定された注力エリアである4つの目標に沿った評価基準の導入です。

10年生はプログラム5年目のための新基準に従ったパーソナルプロジェクトを完了しました。生徒達は彼らにとっても豊かな経験となった広い範囲のプロジェクトに取り組みました。

MYPの学習範囲に加え、7年生と9年生はキャンプに参加する機会を得ました。これらのキャンプで生徒達は各教科で学んだことを全く新しく、楽しい環境で応用する機会を与えられました。

MYP生達は奉仕精神を育む為の新しいプログラムに取り組み出しました。生徒達は新しくなったService@KISTプログラムに取り組み、その多くがコミュニティに有意義な貢献をすることが出来ました。

最後に、生徒達は芸術から運動、カリキュラム平行活動など、様々な学校行事に関わることができました。

これらは生徒達すべてに豊かな教育経験を提供できたと思います。

Rob White
MYP Coordinator



G6B生が清澄講演で曼荼羅の制作中。



ファミリーデーの競技に臨む10年生。



Wall of Honor Assembly(名誉の壁集会)に参加する6年生から8年生。



Mr KroschelがEmily U. (G7B)に学習者としての要素を称える賞を授与。



Wall of Honor AssemblyでのMr RossとAditya (G6B)。



保健体育の授業で6年生と10年生が合同でバレーボールの実技を練習中。



Karina (G6A) が生徒主導面談で学習内容を説明中。

Habitat for Humanity

募金総額

KISTコミュニティの皆様のご支援のおかげをもちまして2015年度Habitat for Humanityチームは**215,317円**の募金を集めることが出来ました。戸の募金は2015年6月にカンボジアのSiem Reapの学校の衛生システム設置のために使われます。また、今年は地域の学校と協力し、子供たちに歯磨きと正しい手洗い、その他衛生的な習慣の重要性についての活動も行います。今年度の皆様のご協力に感謝いたします!

募金活動	募金額
KISTIVAL Booth	88,033 円
Winter Concert Food Booth	14,114 円
SRC Dance Food + Photo Booth	28,363 円
World Cultures Day Photo Booth	44,554 円
Student-Led Conference Coffee Booth	40,253 円

Motoi (G11B)

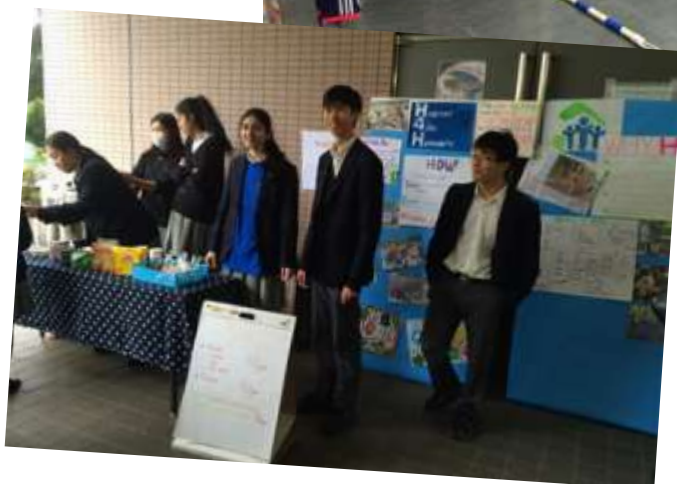
Habitat for Humanity Club Accountant



SRCダンスでの
食品販売。



World Cultures Dayの
写真ブース。



生徒主導面談での
コーヒー販売。

ニューフェイス

先号の *The Comet* 発行以降チームに新たなメンバーを数名迎えました。学校コミュニティを代表し、皆さんを心より歓迎するとともに、私たちとともに過ごす日々を是非楽しんで欲しいと望んでいます。



Ma. Cielito Bautista
Preschool Teacher's
Assistant (Nursery) /
Preschool Nurse



Mara Hayashi
Preschool Learning
Support Instructor
(Nursery)



Mineko Kobayashi
MYP/DP Japanese



Karen Mandokoro
Teacher's Assistant
(K3A-K3B)

スペリング・ビーで学んだこと

スペリング・ビーという単語を暗記することのように聞こえるかもしれませんが、僕はそうは思いません。スペリング(綴り)はスペリング・ビーの本の一部です。スペリング・ビーは忘れがたい、精神的にもハードな経験です。この経験は僕のチャレンジ精神、忍耐力、精神力、そして語彙を高めてくれました。

単語を暗記せずにどうやってスペリング・ビーでよい成績を修めるのかと疑問に思う人がいるかもしれません。大切なのは勉強することで、暗記ではありません。言葉を覚えるには、まずその意味を理解する必要があります。僕は英語の基本である基語・語根から始めました。基語・語根は、日本語の部首のようなもので、例えば、'anti'がついた単語であれば「反対の」という意味があり、'bio'がついた単語であれば「生命」に関連するといった具合です。語根により意味を類推できるので、単語を覚えるのに役立ちます。

スペリング・ビーをご覧になった方は、出場者が質問をしているところを目撃されたことでしょう。多分、皆さんは「何でこんなことを質問するの」「何故早く綴りを言わないの」と疑問に思われたでしょう。出場者は質問をすることで自分の頭にある綴りが正しいものであることを確信し、自身の知識と関連付けようとしているのです。綴りにはいくつものルールがあります。これらのルールを守ることは単語を正しく綴る上で不可欠なのです。ルールをしっかり覚えれば、単語の練習をしなくても正しく綴ることが出来ます。僕たちの頭の中はコンピュータではないので、辞書にある何百万五を暗記することは不可能です。でも、これらの単語の成り立ちや組み合わせ、自分の知識との関連付けができれば、綴りを正解することが出来るのです。リストの単語を勉強するとき、僕は単語の意味を覚えるようにしています。競技では単語に意味を尋ねることが出来るので出題されているものが、自分の考えているものと同じかを確認することが出来ます。

スペリング・ビーでは自分自身が最大のライバルです。単語はしているのにケアレスミスをしてしまえば失格となります。僕は色々なことを考えすぎて、集中できなくなるとミスをしやすくなります。スペリング・ビーには集中力が不可欠ですが、集中力を育てるのはとても難しいです。自分自身の不注意のために決勝で簡単な単語を間違えてしまいました。スペリング・ビーで僕が得た最も重要なものは、集中力と、その必要性です。これは僕の人生にとってとても有意義なことでした。

プレッシャーに耐える力も僕が得たものの一つです。観客の前で綴りを言うのは難しいことです。また、応援してくれる人のためにも、勝たなければ、というプレッシャーもあります。多くの人が観客の前で萎縮してしまい、ケアレスミスをしてしまいます。僕自身はプレッシャーをさほど感じなかったのですが、もし、プレッシャーに弱い人がいるならば、そのことや観客のことを忘れて競技に臨むことをアドバイスします。

また、運任せで思い切らなければならなかった瞬間も多くありました。たとえば、'blight'という単語が出題されたとき、綴りが 'blite' なのか 'blight' だったのかの確信が持てませんでした。考えに考えを重ね、間違えるかもしれないことを承知で 'blight' に賭けました。結果は正しかったのですが、スペリング・ビーはまだ後半戦に入ったばかりで、通常はもう少し簡単な綴りが選ばれることもあり、僕にとっては大きな賭けでした。但し、賭けといってもただ単に運任せにするわけではありません。可能な限り正解に近づけるように選択肢を絞り込んだ上で行うのです。僕が blight を正解できたのは、'plight' という単語を知っていたからです。Plight と blight は韻を踏んでいるので、blite ではなく、blight を選びました。これは難しい選択でしたが、このことはより良い選択肢を選ぶ訓練になったと思います。人生においては選択しなければならぬ難しい決断があると思います。そのため、このようなスキルは重要だと思います。

スペリング・ビーは人生に役立つ多くのスキルを向上出来る場です。スペリング・ビーは僕にとって重要なもので、他の人たちにもぜひ参加することをお勧めします。スペリング・ビーで僕が学んだことの一つは負けを受け入れることです。僕は何年も日本スペリング・ビーに参加していますが、一度も優勝したことがありません。忍耐は大切です。多く人はスペリング・ビーで綴り以外事をいかに多く学ぶことが出来るかを知りません。綴りはここで学べることの1%にしかなりません。残りの99%は人生で活かす事の出来るスキルです。

Gautham (G8A)



Ganesh Gautham Elango, 13, from K. International School Tokyo, pauses to think for a moment before spelling a word during the 6th Japan Times Bee in Tokyo on Saturday. | SATOKO KAWASAKI.

Photo: THE JAPAN TIMES

Gautham は2015年3月14日に東京で開催された第6回ジャパントイムズスペリング・ビーで41校からの参加者中2位を獲得しました。

9年生キャンプ

9年生が山中湖で自然を満喫

9年生のキャンプは5月の第1週に行われました。MYPの最終学年への準備も兼ねたキャンプでは、生徒達と担任教師がクラスとしての一体感を築くとともに、自然豊かな環境で様々な屋外活動を行いました。このキャンプはMYPの10年生で行うパーソナルプロジェクトへの導入というカリキュラムの一環としての要素もありました。以下はキャンプ中の活動に対する生徒の感想です。

5月7日に9年生は8:30にKISTを出発し、山中湖のYMCA宿泊施設に向かいました。施設は美しい富士山を臨めることで有名な山中湖に隣接していました。一泊二日のキャンプではカヌーやサイクリング、ハイキングなどの屋外活動を行いました。

到着後、私たちは様々な活動と一緒に「山」「中」「湖」の3つのグループに分けられました。カヌーは私たち殆どにとって初めての経験でした。湖に漕ぎ出す前に、私たちは安全確認のための「バディーチェック」を行いました。サイクリングでは、グループに分かれて2時間ほど山中湖の周りを走りました。ハイキングでは体力と前向きな思考力を試されました。403三段もの急な階段を心拍数の限界を試すかのように登りました。しかし、それだけではありません。ひたすら登ってたどり着いた先には素晴らしい景色が待っていました。緑の木々越しに富士山が雲につつまれてそびえていたのです。私たちの努力は報われました。なぜならそこにはすてきな寺社と、美しい景色が待っていたからです。

キャンプファイヤーはこのキャンプで最も楽しかったことの一つです。焚き火の周りを囲んで、boogaloo、Penguins Attention や Mr Tihorの懐かしの歌など、たくさんのキャンプソングを歌いました。Boogalooは全員参加だったので、とても楽しめました、もし、選ばれたら何か一つのことについて全員の前で発表しなければならなかったのです。でも一番いまいしくも、記憶に残ったのは penguin's attention でした。これは繰り返される歌で、一回繰り返すたびに別の動きを加えなければならぬのです。そのため、歌の最後のほうでは気の狂ったペンギンのようにバタバタと動きや踊りを繰り返すことになるのです。

長い一日が終わり、生徒達が部屋に向かったとき、ベッドの上で飛び跳ねるこおろぎを見つけました。これは生徒達にとって恐怖の瞬間だったことでしょう。結局、生徒達はこおろぎたちと一緒に寝ることになりました。

二日目には、前の日に出来なかった活動に参加しました。活動が終わると、昼食をとって帰路につきました。

色々なことがありましたが、9年生のキャンプは社会性を育てる素晴らしい機会であったと同時に、1週間続く試験の前の安らぎのひとつでもありました。

Rachel (G9B), Gabriel (G9A) and Leia (G9A)



遥かに見える富士山を眺めながら湖畔をサイクリングする9年生。



神社の前のHyun Jun, Selina, Keali'i, Qifei と Seina



神社への403段の登りに挑むMoe MinとManato。



食堂で美味しい食事と交流を楽しむ9年生。



第一夜の締めくくりのキャンプファイヤー。



YMCA キャンプ山中湖のトーテムポールの前で、9年生と教員の集合写真。

World Scholar's Cup

KIST生が都内で開催されたWorld Scholar's Cupに始めて参加しました

World Scholar's Cup は世界中の様々な都市で開催されている知力・学力を問う非常に濃密でレベルの高い競技です。今年、KISTの3チームは代々木公園内の国立オリンピック記念センターで開催された大会に始めて参加しました。KIST生達は日本中から集まった公立・私立・インターナショナルスクールの優秀な生徒達の中でその能力を遺憾なく発揮し、表彰を受けました。以下は出場者のうち2名、10年生のSaachin と Hana の感想文です。



KIST World Scholars 出場者 (L>R)
Selena (G9B), Akiko (G10A), Seina (G9B), Hana (G10B), Radhika (G10B), Nina (G10A), Saachin (G10B), Mirabelle (G10A), Arjun (G10A).

Hana (G10B)

World Scholar's Cupはエキサイティングで記憶に残る経験でした。2日間の大会期間中、日本中から集まった出場者たちは独創的で魅力的な競技に参加しました。私が一番楽しんだのはCollaborative Writingでした。この競技ではメンバー3人からなるチームで個々が今年の共通テーマであった“The World Unbound”「解き放たれた世界」についての論説文を与えられた45分の制限時間内に書くものです。私は著名な心理学者、ジャン・ボードリヤールのアメリカに関する世界観の論争は日本にも当てはまるのかというテーマで記述しました。驚くべきことに、私はこの論説文部門で優勝することができました。私は与えられたテーマについて、可能な限り論点を明確にして、グループ単位で議論を行う競技にも参加しました。この競技には個人としてのコミュニケーション能力と討論能力の他にチームとしての協働力や時間管理スキルも要する難しいものでした。チームメンバーは15分で争点を明確にし、発言内容を決めなければならなかったのです。議論は神経をすり減らすものでしたが、楽しかったです!2日間の大会の終わりには競技の総括でもある表彰式が行われました。KISTの3チームが表彰されるたびに、そのメンバーである誇りに胸が震えました!!大会期間中は本当に素晴らしい経験をすることが出来ました。来年の大会に参加することが今から楽しみです。



Saachin, Hana, Ninaは新規参加校部門で1位になりました。



アルパカのGerryはWorld Scholar's Cupのマスコットです。Seina, SelinaとRadhikaがそれぞれお土産に貰ったGerryを持っています。

Saachin (G10B)

World Scholar's Cupでは6つの教科;美術、音楽、科学、文学、歴史、社会と特別分野を中心に競技が行われます。出場者は各競技でこれら分野の知識を問われます。これら分野の出題内容は共通テーマである“The World Unbound”「解き放たれた世界」に関連したものです。特別分野は「ヒーローとスーパーヒーロー」でした。各分野を理解するうえで最も困難だったのは、事前の読書や暗記が不可欠だった点です。例えば、“Peering over the edge”と銘打った美術と音楽の分野では、内容はアンディ・ウォーホルのキャンベルスープ缶の作品からラジオヘッドのFake Plastic Treesと、多岐に亘る美術及び音楽作品が出題されます。科学では義肢をはじめとした介助器具について、歴史では主に革命など人類の解放を扱った問題が出題されました。文学分野である“Voices on the Unbound”ではヒーローや自由を扱った詩や短編、小説から出題されました。Worlds Held Togetherというタイトルで社会問題を扱い、Worlds Torn Apart のタイトルの元、文化的アイデンティティについてを扱いました。全体的に教科エリアはどれもとても興味深かったのですが、あまりに内容が多岐に亘り、且つ複雑であったため、理解するのが難しかったです。個人的には新しい事柄を学び、世界を異なった視点から見る事が出来たこの経験はとても楽しく、貴重なものでした。色々な学校を代表しているチームのメンバーに会えることも、広い分野のディベートスキルに磨きを掛けることのできるとても良い経験でした。



Akiko, Mirabelle, Arjunとアルパカ。



KIST生は様々な賞を受賞しました。

2015年卒業生への祝辞

5月にDP試験と、高校生活最後の評価課題が始まると、卒業生たちは緊張しながらも自信に満ちていました。今、試験期間の終わりを迎え、当初の緊張の多くは、これから世界中の大学で始まる新たな生活への期待へと変わっているようです。



KISTの2015年度卒業生の皆さん、おめでとうございます！人生は冒険です。そしてこれからKISTを卒業し、冒険に乗り出す皆さんを心から応援しています。皆さんがこれまで成し遂げてきたこと全てに対して、私たちは誇りと信頼をもっており、また皆さんがKISTでこれまで学んできたことをを活かし、国際社会に著しい貢献を行ってくれることを確信しています。ここを巣立ち、あらたな始まりの中で「生涯学習者」としての道を歩む皆さんがKISTでの思い出を大切に、私たちコミュニティ全員が皆さんの将来に幸多からん事を願っており、皆さんを常に応援しているということをご忘れずにください。

皆さんの将来を心から応援しています。そして、またすぐに皆さんがKISTを訪問してくれることを楽しみにしています！ 😊

Mr Jones

Math Field Day 2015

2015年4月22日、KISTの生徒達は座間ハイスクールで開催された恒例のKPASSP Math Field Dayに参加しました。7年生から12年生までの生徒達は午前中の個人競技で非常に優秀な成績を収め、飛行機機の製作を行う午後のmath maniaにも非常に熱心に取り組みました。

コーチとして、参加した全て生徒がこれまで準備に費やした4ヶ月間の努力を称えます。また、下記生徒の特に優れた成績を皆さんにお知らせいたします。

Jun Hyuk (G7B)
G7部門 1位

Meng Ting (G8A)
1位チームメンバー

Ji Ye (G11B)
G11部門 2位

皆さん良く頑張りました！

Christopher Tihor
Team Coach

Andre Ito
Team Coach



Jun Hyuk (G7B), Ji Ye (G11B), Meng Ting (G8A)

LEAPニュース



今年はLEAPにとって大きな変化の年となりました。エレメンタリーでは朝の英語サポートクラスとともに、週2回の英語発展クラスを導入しました。セカンダリーでは、アカデミックライティング(小論文)と、SATの準備クラスを開講しました。また、ケイ・インターナショナルプリスクール(KIPS)でもLEAPをスタートさせました！

LEAP授業及び運営プロセスについてのご意見・ご要望を是非お寄せください。ご意見はLEAPウェブサイトの [Contact](#) からお送りいただけます。

LEAP サマープログラムが始まる日が刻々と近づいています。7月のセッションにはまだ若干空きがありますので、ウェブサイトをご確認ください。今年のサマースクールにはセッションが2つ用意されています。

セッション 1 (6月15日 - 6月26日)

- サマー・デイキャンプ - 新K1から新6年生を対象とした楽しい探求プログラム
- サマーアカデミックプログラム - 新3年生から新6年生を対象とした2週間の英語・算数の集中プログラム

セッション 2 (7月 27 日 - 8月7日)

- サマーアカデミックプログラム - 全学年対象の2週間の英語・算数の集中プログラム



生徒達からLEAPを楽しむことが出来たと聞くのはとても素晴らしいことです。先週、ある5年生が私に、「朝LEAPに申し込みをしたと聞かされたときはエーッ、早起きやならない!」と思ったけど、でも一年間やってみたら、終わって欲しくない!」と言ってくれました。この言葉を聞いて、私は胸が熱くなりました。生徒達と週2・3回顔を合わせることでどれだけの関係を築くことが出来、どれだけその関係を楽しんだか知りません。私は他のLEAP教師も同じように感じていることを確信しています。生徒達の成長をより良くサポートするためには、彼らの強みと弱みを良く知ることが不可欠なのです。

新年度の初日からLEAPの1学期分の申し込みを受け付けますので、是非早めのお申し込みをお勧めいたします。

プログラムについてご質問がありましたら、私宛にメールでお問い合わせいただくか、メインオフィスにお越しください。

Anna Holdaway
KIST LEAP Coordinator

無料 オンライン学習のご案内

MITが提供する物理や工学について知りたくありませんか?C#やPythonプログラミングは?この取り組みに協賛してくれるハーバード、バークレーやその他の有名大学を通して中国語を学んだり、ダンテ研究をしたくはありませんか?

これらのコースを始め、更に多くのコースが夏休み中、オンラインで提供されています。Arjun (G10A) は最近MITの航空宇宙工学コースの受講を終え、終了証を受けています(おめでとうArjun!)夏休み中にこの **無料** オンラインコースを受けてみませんか?

詳細はこちら:

edx.org
coursera.org

楽しく学びましょう!



KISTバンド

今年はKISTスタッフバンド元年となりました。メンバーは、Ms Anna (ボーカル)、Ms Kay (ショルダーキーボード)、Mr Dave (サクソ)、Mr Vodden (ギター)、Mr Collins (ギター)、Ms Karen (ベース)そして Mr Hughes (ドラム)です。KISTバンドは都内の様々な場所やチャリティーイベントなどで演奏活動を行っています。バンドではロックやポップスを中心に演奏しており、来年度も活動を続けていきます。



ミドルスクールバスケットボールチーム

International Schools of Tokyo Athletics Association (ISTAA) ミドルスクールバスケットボールトーナメント

3月14日の土曜日にKIST Comets U-14バスケットボールチームは、ブリティッシュスクール東京で開催されたISTAAミドルスクールバスケットボールトーナメントに参加しました。ディフェンディングチャンピオンとして、Cometsは今年も学校に優勝トロフィーを持ち帰ることを期待していましたが、残念ながら、それは叶いませんでした。

第一試合では接戦の末、コロンビアに負かされました。しかし、この不本意な敗北にもかかわらず、チームはその後、素晴らしいチームワークとリバウンドをとり、残りの試合に勝つことができました。最終的に、チームは、残りの試合にすべて勝ち、今年の勝者となったコロンビアに続く二位となりました。私は多くの他チームのコーチや審判に、Cometsのチーム

ワークについて多くの賛辞をいただきました。このような多くの称賛をいただけたことはチームの誇りです、よくやりました！また、当日応援にいらしてくださった保護者の皆様(や、教員)に大きな感謝をさげます。私たちは確実に一番多くの声援を受けていました！皆さんの声援は大きな励みとなりました！ありがとうございました！

来年度もミドルスクールのバスケットボールチームのコーチをするのを楽しみにしています。チームへの参加を希望する人は、是非来年度のクラブに申し込んでください、そうすればかけがえのないチームの一員になることができます。

Go Comets!

Scott Grant
Middle School Basketball Team
Coach



Staff 10!

●●●●●●●●●●
 今月のStaff 10!では2013年にエレメンタリーのK3教師としてKISTに加わったChristie Chungをご紹介します。できることを嬉しく思います。



Ms Chung が料理をしているところ。

● 出身地について面白いことを教えてください。

移動の多かった私の子ども時代のおかげで、私には故郷と呼べる場所がたくさんあります：

韓国・ソウル – ソウルのにぎやかな街中では、食べ物、豪華な保温靴下、かわいい手作りアクセサリ、靴など、あらゆるものの売り子さんを簡単に見つけることができます。私のお気に入りホットクで、揚げ焼きした生地に砂糖、蜂蜜シナモンなどを包んだものです。私はソウルに飽きることがありません。この町は決して眠らないのです、一晩中営業している夜市もあります！
ハワイ、ホノルル – ホノルルは私の心に最も近い場所です。自宅の裏庭の青々した芝の上で過ごした時間について懐かしく思い出します。庭にはココナッツ、パイナップル、黄色とピンクのプルメリア、赤い根しょうがの花、ティリーフ（紅竹）やくちなしの茂みがありました。子供のころの私はプルメリアを摘んでレイを作ったり、ココナッツを剥いたり、ティリーフでヘアバンドを作ったり、ヤモリを探したりして楽しい時を過ごしました。

マサチューセッツ・ブルックリン – ブルックラインはボストンの一部です。きれいな家や公園のあるとても静かで小さな町です。John F. Kennedy大統領の生誕の地でもあり、彼の生家は今でも記念館として公開されています。私の家はハーバード大学（アメリカで最初の大学）とフェンウェイパーク（レッドソックスの本拠地）から車で20分の所にあります！

● 世界で一番好きな場所はどこですか？

一つだけを選ぶならハワイでしょうか。3年前ハワイで結婚式を挙げたことで、ハワイは私にとって更に特別な場所になりました。

● チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。

幼稚園時代の夫です。どんな子供だったのかを知りたいです。

● 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？

どちらかといえば趣味でしょうが、料理をするのが大好きです！（もちろん食べることも！）

● ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。

野菜や植物を育てることが大好きです。今はベランダで赤カブ、レタス、バジルを育てています。

● あなたにとって一番の宝物は？

決まりきった答えになるかもしれませんが、家族です！

● ご自分を言葉で表現すると？

フレンドリー、エネルギッシュ、そして忠実。

● もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？

そうは思いません。

● 自分を高めるために今やっていることは？

料理のレパートリーを広げること。韓国料理と日本料理（義母に感謝です）には自信があるのですが、インド料理、特にスパイスをたくさん使ったカレーの作り方を覚えたいです！！

● ファンに一言お願いします。

私の夏を“クール”にしてくれてありがとう！！ 😊



セカンダリーELS

●●●●●●●●●●
 今年は英語サポートセンターにとって忙しい一年でした。Mr Davignon と Mr Boyd は生徒達の英語力の向上のために熱心に指導を行いました。生徒の皆さんも、教室で、または一對一のサポートでお二人に接したことと思います。KISTの課題や学習のことで質問があり人は是非お二人に相談してください。お二人は皆さんをサポートするためにいらっしゃいます！来年も私たちは皆さんのライティングの向上のために引き続きアカデミックライティングの指導を行います。来年度は、より多くの生徒がライティング向上のための補修講座の恩恵を受けることが出来ると思います！来年も皆さんの英語力の発達のサポートのための取り組みを行うことを楽しみにしています。

William Miller

Academic Writing and ELS Coordinator



Mr Campbell, Mr MillerとMr Davignon.

Across the Vast Stories We Have Finally Met

BELONGING WHERE

Caught in an abyss
Belonging where?
Thousands of children
Heartache despair

Stolen, separated
Leaving mothers behind
Lost to our culture, music, dance and
art
Lost to Ourselves – our Families –
Our hearts

As a child wondering
What did I do wrong?
Who the hell am I?
A feeling so strong, the taunts of a
childhood all a whirl.
Half caste – half caste a little black girl

Italiano?
Greek?
Maori? Or What?
Some of the questions asked a lot.

To black to be white
Too white to be black

Caught in the middle belonging no
where

Lorraine McGee-Sippel (1997)

2015年4月11日、私は担任のMs Christianとワシントンホテルを目指して新宿を歩いていました。何故そこを目指していたか？私たちは、8年生のSummative taskでインタビューしたある特別な方に会いに向かっていたのです。その方はLorraine McGee-Sippelさんとおっしゃいます。

ある何の変哲もない一日、14歳の私は英語の授業で第2次世界大戦について学ぶために教室に入りました。そのとき、突然英語の先生、Ms Goreが単元のSummative task(総括的評価課題)について発表しました。課題は悲劇的な出来事の犠牲者の方にインタビューを行い、その方とインタビューに基づいてfaction;実録小説を書くというものでした。実録小説(faction)とは事実とフィクションを融合させた物語で、実在の人物や出来事を織り交ぜた小説です(Morgan 2015)。私がリサーチしようと思った悲劇的な出来事はStolen Generations「盗まれた世代」です。盗まれた世代とは、オーストラリアを植民地化した人々が先住民族やその混血の人々を隔離し、取り込むことで絶やそうとしたで生まれた人々です。彼らは先住民族の子供たちを家族から引き離し、施設に隔離したり、養子や里子にしたりすることで、固有の文化を継承させないようにし、ほぼこの目的を成し遂げました。後にこれらの子供たちが「盗まれた世代」と呼ばれるようになったのです。

今でも、私はMs McGee-Sippelと連絡を取り合っています。彼女とご主人が訪日されることを決められたとき、新宿のワシントンホテルでお会いするお約束をしました。これまで一度も写真の交換をしていなかったもので、どうやってお互いを見つかることができるのだろうと考えていました。しかし、幸運なことに、会うことが出来ました。私たちはホテルの喫茶室でお互いについて知り合う機会を持つことが出来ました。Ms Christian、Ms McGee-Sippel、ご主人と、私は彼らの旅行についてや私の学校生活について午後いっぱい楽しく話をしました。私たちは和気藹々と、楽しい2時間を過ごしました。9年生で最も充実した週末であったといえるでしょう。

私はKIST生たちが挑戦者となり、実社会に一歩を踏み出し、それが憧れの人であれ、純粋にリサーチのためであれ、生きた人物から生きた知識を得ることを望みます。生徒達は単に資料の1ページやウェブサイトから得る以上に多くの情報や感情を、実際に連絡を取り合った人物から得ることが出来るのです。

Nikita (G9B)

How to Create a Faction for a Fiction Story, The Classroom (2015). Retrieved April 21, 2015, from <http://classroom.synonym.com/create-faction-fiction-story-4523.html>



Nikita meeting Ms McGee-Sippel

図書室ニュース

サクラメダルBook Bowl

聖心インターナショナルスクールのMr Brianが上位3つの入賞チームを読み上げるのをKIST生たちは固唾をのんで見守っていました。もちろん先生方も。全員が祈りながら待つ中、「第二位は…**K. International School Tokyo!**」でした。

今年はサクラメダルBook Bowlへは初参加でした。毎年開催されるこの催しは、4・5年生に他のインターナショナルスクールの生徒たちとサクラメダルのチャプターブックに関する知識を競うことのできる機会です。



わが校のチームはサクラメダルの英語のチャプターブック20冊を読破し、クイズ問題に備えて熱心に暗記を行いました。(Steg博士がReally-Good-Moves-Around-In-Time-Machineのために必要とした石はなんでしょう? 幸運なことに、ミルクの専門家もこの競技では素早く答えなければならなかったようです!)



KIST生の努力は4月のISSHでの大会で10校中2位に選ばれたことで報われました。参加した生徒たち、おめでとうございます。また、クラブを率いてくれたMs O'HandleyとMs Patterson、ありがとうございました。

サクラメダルラッフル当選者

1年生から5年生までの生徒は10月～4月までの間サクラメダルの投票に参加することができます。生徒たちは英語の絵本、チャプターブック、グラフィック・ノベル、日本語の絵本やグラフィック・ノベルから5冊読むごとに1回の投票権を得ます。生徒の投票を集計した後、KISTの司書が3名分の抽選を行いました。

当選した幸運な生徒にはScholastic Book Club Orderの商品券20ドル分がプレゼントされます。**Haruka N. (G2A)**、**Killian (G2A)**、**Eanya (G4B)**おめでとう!



Haruka N. (G2A) Killian (G2A) Eanya (G4B) (right) with sister.

当選しなかった生徒たちも、投票ありがとうございました。サクラメダルは生徒の声で決まる賞です。今回の受賞作はこちらから見るができます<http://sakuramedal.com>。

来年度の図書オンラインサービスの新機能(図書 Moodle のQuick Linksとは)?

生徒たちのリサーチのニーズにこたえるため、KIST図書室では新たなリサーチデータベースへの登録・購読を行います。これにより、生徒たちは常により多くの資料へアクセスすることが可能になり、IBの集大成ともいえる**G5 Exhibitions**、**Personal Projects** や **Extended Essays** へのサポート体制も充実します。来学年度からKIST生は *Infobase Ebooks*、*Classroom Video on Demand*、*Bloom's Literature*、*Science Online*、*World Almanac for Kids* へのアクセス権を得ることになります。また、引き続き *WebPath Express*、*Britannica School Edition*、*Kids Infobits*、*Opposing Viewpoints*、*BrainPop*、*Active History* への購読も行います。



学習資料へのアクセスはLMC及びエレメンタリー図書室のMoodleにある **Quick Links** から行っていただけます。

夏休みの読書

夏休みの間も生徒の皆さんには英語や、母国語での読書を継続することをお勧めします。これをサポートするため、LMC及びエレメンタリー図書室は6月10日から、生徒に対し、フィクション10冊までの貸し出しを行います。

EE(課題論文)に取り組みたいDP生はMr Andiと相談の上、ノンフィクション資料を借りることができます。



次のページに続く

前ページの続き

2015-2016度、図書室のアクションプラン

まだ、皆さんは夏休みと、ビーチで読む楽しい本のことしか思い浮かばないかもしれませんが、KIST司書はもう来年度の計画を立てています。

2015-2016年度もKIST図書室ではサクラメダルプログラムへの参加を継続します。全ての生徒は **Sakura Medal Art Competition**のための読書、投票、美術作品の提出を行うことができます。エレメンタリーの4・5年生は **Sakura Medal Book Bowl club**に参加することができます。またセカンダリーの生徒たちも**Sakura Book Trailer Project**でビデオ編集のスキルでお気に入りのサクラメダルの本を紹介することができます。 **Student Center for Excellence** は *Library Elves, Hungry Readers, Book Bloggers, Student Presenters* やその他の図書イベントを通して生徒たちが奉仕活動やCASを行う機会を提供します。

また、11月には **D.E.A.R.**が戻ってきますが、少し形を変えます。これまでD.E.A.R.は同じ曜日に行われてきましたが、今年はMr Larsenがお楽しみのアナウンスを行ってくださいます。本を片手に、“Drop Everything And Read”の準備をしてみてください！

2月にはKISTの文化的多様性を尊重するため、**World Cultures Day**を再び祝います。皆さんの民族衣装を見ることや、保護者による読み聞かせ、その他文化共有のための多くのボランティアのご参加を楽しみにしています。

スタッフのお別れ

LMC図書アシスタントのRosanna O'Connellが6月末でKISTを去り、母国に戻られることになりました。これまでの貢献に感謝するとともに、英国でのご多幸をお祈りいたします。



KIST Library Team

保健便り

咽頭結膜熱(いんとうけつまくねつ)にご注意



咽頭結膜熱(いんとうけつまくねつ)とは咽頭炎と結膜炎を同時に認める病気で春先から流行が始まり、6~7月にピークを迎える感染症です。日本では「プール熱」ともいわれており、プールの水を媒介して感染しやすいことから、そのような名前がつけられました。咽頭結膜熱の原因となるアデノウイルスは目やのどが大好きで、とても感染力が強いウイルスです。

具体的な症状は、のどに違和感を認め、のどが赤くなって痛くなったり、扁桃に白っぽい膿のようなものがついたりします。そして39度以上の高熱が続き、目が赤くなり目やにが出たりします。

予防方法は石けんと流水での手洗いが重要です。眼を触ったり、指を舐めたりすることも避けましょう。

医師からアデノウイルスに感染しているといわれたときは、他の風邪と同様で安静と水分補給が大切です。また他人にうつさないよう配慮することが大切です。結膜炎で目やにが出ると目を触りたくなりますが、そのような時には、ハンカチやタオルではなく、ティッシュなどの使い捨てのもので拭き取り、すぐ捨てましょう。タオルなどは、家族と別のものを使うようにしましょう。ウイルスは熱や消毒液で不活化されますが、目やにや唾液がたくさん付着したタオルは、洗濯機で洗剤を使用して洗っても感染する場合がありますので、分けて洗うほうが無難です。有症状者や発病して日の浅い患者の感染力は強いので、入浴の順番を最後にするといった心配りも感染拡大予防に役立ちます。

Makiko Whittaker
School Nurse

幼稚園の園庭について

今年の夏休みには、皆様のご寄付のおかげで、園庭に素敵な改善を加えることができます。より安全・快適で魅力的な園庭にするために、遊具の付近にラバー素材を敷き詰め、さらにその上に人工芝を敷く予定です。また、ウッドデッキ部分も撤去され、更なる安全のために安全な素材に変えられます。

また、夏の間の園庭・校庭の蚊の数を出来る限り減らすために、様々な対策を講じています。まず、ゴールデンウィーク中に木の枝の刈り込みを行い、さらに蚊取りトラップ(モスキート・トラップ)を購入いたしました。これらの対策をを通し、園庭・校庭をより安全で楽しい場所にするすることができます。



クラブ活動のハイライト



LEGOロボティクスクラブ (セカンダリー)

KISTでは今年初めてLEGOロボティクスクラブを開講しました。LEGOのマインドストームとNXTの機材を用い、生徒達は車を始め、様々な乗り物などの機械工作を行う機械を得ました。それぞれの課題において、生徒達は単にロボットを組み立てるだけでなく、マインドストームとNXTソフトウェアを用いてそれぞれのコマンドをプログラムします。プログラムには、ロボットがいつ、どこで動くかの指示や、いつ特定のセンサー(触覚、光、音、など)を起動するかを指示を組み込んでいます。LEGOロボティクスの第1セッションが終わりに近づいていますが、すでに、生徒が自身のロボットを設計し、生徒間のロボットコンテストを行うなど、来年度に向けてクラブに新たな要素を導入することを検討しています。来年度は是非、LEGOロボティクスクラブへに参加してみてください！



Andrew Tulk
Club Leader



Junior Author's Club (エレメンタリー)

なぜ、あえて生徒を「作家」「作者」と呼ぶのでしょうか? 私たちはしばしばエレメンタリーで行える最良の事は「書く喜び」を生徒に感じてもらうことだということを忘れがちです。手跡、文体、そして句読点や文法をはじめとする書き方を教えることはもちろん重要な要素です。しかし、生徒達に書くことへの情熱や所有権を育成することには顕著な学習効果があるのです。自分と、自分自身が書くものに自信を持っている生徒は書くことを厭わず、積極的に書くことによって更に書くことが上手になっていきます。さらに重要なことに、生徒達が書くことに情熱を持っていると、新しい言葉や考え、技術を積極的に使おうとし、そのことによりさらに書くスキルが向上していきます。書くための準備・計画プロセスや校閲スキルを教えることは生徒が書くための課程を理解する助けとなります。できるだけ早い段階でこれらのスキルを生徒に植えつけることは、彼らが将来的な学生生活を成功裡に送れるための一助となります。書くことを厭い、それを喜びでなく重荷と感じ、書くことへの所有権を持つことが出来ない生徒は、書く喜びを知っている生徒と同様の学習を進めることは出来ません。Junior Authors' Clubでは書くことの喜びや、計画性を可能な限り伝えるとともに、生徒自身が作家であり作者であるという意識を持ってもらえるように最善を尽くしました。そして、できればこれからの人生において、書く楽しみを味わい続けていって欲しいと望んでいます!



Jennifer Campbell
Club Leader



K3 Reading Rascals クラブ

このK3リーディングクラブの始まりはArminaとSophia(両者ともG10A)がエレメンタリーの低学年(K1-K3)を対象とした奉仕活動をしたいと提案してくれたことでした。二人の提案はMr Yoshiharaにも持ち込まれ、以前からK3のリーディング活動を行いたいと考えておられたMr Yoshiharaの賛同を頂きました。その後、ArminaとSophiaはこの取り組みへの賛同者を募り、Mr YoshiharaよりK3の生徒達との関わり方に関するトレーニングを受けました。この段階で活動は生徒達が想定していたものより大掛かりになりましたが、彼らは最後まで熱心に取り組めました。彼らはエレメンタリーの信念である、必須の道具としての語学の習得に必要な目標である、より多くの生徒が読書を楽しむこと、に貢献しました。本活動の詳細については下記生徒のコメントをお読みください。MYP奉仕活動の一環としてリーディングクラブに参加してくれた10年生に感謝します！

Shun Nakade

DP CAS and MYP Service Coordinator

毎週金曜日の放課後に数名のK3に本を読むことの出来る奉仕活動はとても楽しいひと時でした。私たちとの読書を楽しんでくれるK3と一日を終えることが出来る金曜日はとても充実していました。この活動で責任を持って毎回のセッションに参加することによって、私は自分の責任感を発達させることが出来たと思います。これは他の状況や場所でも応用できる重要なスキルだと思います。例えば、必ず参加し、課題を完了しなければならないグループワークなどでも役立つでしょう。その他にも年をとるに連れて実生活でも不可欠のスキルとなるコミュニケーションスキルのような重要なスキルを身に付けることができました。来年もこのような不可欠のスキルを身に付けながら、熱心なK3生と読書する機会を得られるこの活動に参加したいと思います！

Sophia (G10A)



この6週間数人のクラスメイトと参加していたK3リーディング活動はとても興味深く、また意義深いものでした。私たちは最初、このクラブをどのように運営するか、取り組みが成功するのかといった不安もありましたが、最初のセッションが終わると、この活動の楽しさがわかりました。このセッションのいいところは、実際に子供たちの進歩、それも楽しみながらの進歩が目に見えるということです。私はこれからもこの活動を是非続けたいと思っていますし、他の人たちにも、自分たちが興味を持っている分野での奉仕活動を勧めたいです。

Armina (G10A)

子供たちへの読み聞かせ活動は今年最も楽しかった経験の一つです。K3の子供たちと簡単な絵本や物語と一緒に読むだけでしたが、学習意欲の高い小さい子供たちと接するのはとても心温まる経験でした。活動中の楽しく落ち着いた雰囲気はまさに週の終わりに皆が必要としているものでした。私は、初めての人と接するときは柔軟に、臨機応変に対応することを学びました。これは、これから更に多くの人と出会い、関わる事になる私たちにとって重要になるスキルです。子供たちにまた会いたいですし、新しいことを学びながら、多くの絵本に触れることも出来るこの活動を、11年生のCASでも是非続けたいです。

Mirabelle (G10A)

この活動は本当に他のものでは経験できないものを与えてくれました。たった6週間の活動でしたが、自分にあるとは思わなかった様々なスキルを磨くことが出来ました。小さい子供たちの読書スキル向上を援助するだけではなく、自分自身が大いに楽しみ、かけがえのない思い出を作ることが出来ました。この活動で私が得た最大のスキルは忍耐力です。私はもともと忍耐力のある人間ではありませんが、この活動を通して以前より少しは忍耐力が培われたと思います。子供たちはかわいらしく、一緒にいてとても楽しい存在ですが、同時にたいへんな思いも経験させてくれます。でも、この数週間で、小さい子供たちへの対処方法や常に冷静でいる方法を学びました。そのほかに学んだことは、コミュニケーション力、指導すること、妥協することです。子供たちはよく"I Spy"のシリーズを読みましたが、これはあまり読むところがない本です。そこで、私は妥協点として他の(読むところのある)本を読んだ後、最後の10分を"I Spy"に宛てることにしました。この6週間はすばらしい経験だったので、是非来年もこの活動を続けたいと思っています！

Radhika (G10B)



この活動はいり色名面で楽しいものでした。まず、めったに接する機会のないK3の子供たちと接し、読み聞かせができました。小さい子供と接するのはあまり得意ではないので、全く新しい年齢層と協働するスキルを伸ばすことができました。これは今後様々な環境、例えば将来子供と接したり、異なる年齢層と協働したり、教えることになった場合など、で活かされるスキルです。是非来年もこの活動の継続を検討します！

Hiroya (G10B)

並段あまり接することのないK3の生徒への読み聞かせはとても楽しい経験でした。彼らに読み聞かせをすることはとても楽しく、また、彼らが自分たちで読むことを聞くのはとても心温まる経験でした。最初は恥ずかしがっていた、自分が担当した女の子が、回数を重ねるごとに徐々に慣れてくれて、どんどんオープンな態度で接してくれるようになったのが嬉しかったです。戸の活動を通して、小さい子供たちとの接し方を学べたと思います。自分には弟妹がいないので、小さいことのコミュニケーションに慣れていないのですが、この活動のおかげでこれからは臆せずに話しかけられます。とても楽しい経験だったので、来年もCASでこの活動を続けたいです。ただ、初めて小さい子供、特に疲れたり、退屈したりしている子供は制御不能なので、彼らに読み聞かせをするのは簡単なことではないと覚えておいたほうがいいです。活動では出来るだけ多くの本を読むようにはしましたが、自分の担当の子に選んでもらうと、たいいていつも"I SPY"を読むことになってしまいました。色々大変なこともありましたが、それでもとても楽しい経験でした。小さい子供と遊んだり、読み聞かせをしたりすることが好きな人にはお勧めします！

Kaili (G10B)



今年の奉仕活動として、KISTのK3への読み聞かせ活動に参加しました。この4週間、子供たちと会い、彼らと本を通じた交流することで、僕個人は確実に成長することが出来ました。また、それだけでなく、新たなスキルを得ることも出来ました。小さい子供たちとの読み聞かせや、会話をすることで得るスキルは近い将来、私たち全員が経験するであろうことです。早いうちに経験しておくことは重要です。これは非常に意義深い経験でしたので、来年も是非奉仕活動のひとつとして参加したいです。

Marcus (G10B)

セカンダリーSRC

KISTalk

2015年3月11日に、またKISTalkを開催しました。KISTalkは昨年もSRCが開催し、成功を収めたイベントで、生徒が学校コミュニティと自由な意見を交換できる場です。今年のKISTalkは4年前に日本を襲った3.11東日本大震災を記念して企画されました。9年生から11年生の生徒達が地震にまつわる記憶や考え、意見を発表・共有しました。今年のKISTalkも大成功に終わりました！

Biblio

2015年4月17日にKIST SRCは最初のビブリアバトルを開催しました。簡単に説明すると、ビブリアは本の紹介を行う競技です。生徒達はセカンダリー全体に対し、5分の制限時間内でお気に入りの本を発表します。これに続き、聴衆は最も良かったと思う発表に票を入れます。今年のビブリアの優勝者はLaura Hillenbrandの*Unbroken*を紹介した **Sara** (G9A) でした。KIST初のビブリアは好評でした！

SRCメンバーとして学んだことは…?

G6BのSRCとして、私はSRCの組織と、SRCがどのように機能しているのか、そしてどれだけ学校の向上のための働きをしているかを学びました。また学校内のいくつかの問題点と改善策についても知りました。学校改善のための試みを実施した後は、とても嬉しくなります。また、他の学年のSRCメンバーとの交流も楽しかったです。SRCに所属したことで、クラスの代表として物事に責任を持ち、時間を賢く使うことを学びました。 **Aditya** (G6B)

SRCの一員であるということに私は不安な気持ちを抱いていました。でも、会議では皆とても優しく、必要なときにいつでも手を差し伸べてくれました！会議では新メンバーの私には分からないこともあります。でも皆が色々説明してくれたのでとても嬉しかったです！色々な役割を果たすことで私の責任感も向上したと思います。会議では私もメンバーの一員だと思えることが出来ましたし、皆で私を笑わせてくれました！SRCのメンバーでいられてとても楽しかったです！！ **Saki** (G6A)

私は2年間SRC活動からたくさんのことを学びました。私がSRCから学んだ最も大切なことは自律心を持つことです。最初は毎週金曜の放課後に集まってダンスの企画をしたりするのは大変でした。全てが最初はとても難しかったです。それでも私は役割を果たさなければならない仕事としてではなく、自らの楽しみと貢献と考え、続けることができました。 **Arya** (G12A)

KIST SRCのメンバーとして、2年間を過ごしました。最初は初期、次はクラス代表としてです。ここではたくさんを経験しました。今、私はメンバーでなければ得られなかった経験やスキルを数多く身に付けることができました。例えば、学生としてのリーダーシップ、コミュニケーション能力、実務的な問題解決能力などです。学校をより良く、生徒にとってより心地良い場所にしようと努力する生徒集団の一員であったことを誇りに思っています。 **Prakhar** (G12B)

クラス代表として1年、役員として2年間をSRCで過ごしたことは文字通り自分の世界観を変える経験でした。正直、SRCに参加するまでは自分もその3文字の表す意味も知らず、SRCは役立たずで、つまらないと揶揄する典型的な野次馬でした。自分自身、よくいるうさくて目立ちたがり屋なクラス代表を困らせるタイプの男子生徒でした。でも、友人で、今年一緒に卒業する現会長に強引に誘われてSRCに参加することになってから自分がどれだけ多くのことを学び、メンバーであることを楽しんだかはこの短い記事では伝えきれません。今から10年後、SRCでの詳細な活動は思い出せないでしょう。でも、一緒に活動した仲間たちや、共有した小さな、けれどかけがえのない瞬間、そしてSRCへの感謝の気持ちは決して忘れることはないかと確信しています。 **Tatsuya** (Treasurer) (G12B)



THANK YOU FOR AN
AMAZING YEAR!

スポーツニュース

最新のISTAA スポーツ情報

ハイスクールの男女バスケットチームの皆さん、今シーズンも素晴らしい成績で終了し、新たな優勝を学校にもたらしたこと、本当におめでとう！！

今年度で卒業を迎えるチームメンバーKeerti、Mikio、Salam そしてRei。皆さんの将来に幸多からんことを願います！！



ミニバスケットチームも、おめでとう！ISTAAトーナメントでは素晴らしい成績を収めることができました。チームは2015年度の試合で2位という好成績を収めました。



ハイスクールの男女フットサルチームはどちらも5月30・31日のブリティッシュスクール昭和キャンパスでのタイトル戦をもって、ISTAAシーズンを好成績で終了しました。以下、U18フットサルコーチからのコメントです。



女子フットサルチームの皆さん、とても楽しく、好調なシーズンを送ることができましたね、おめでとう！今年は私にとって初めてコーチとして過ごすシーズンでしたが、皆さんの持つスキルだけでなく、互いを助け合い、協力し合う皆さんの姿勢に感銘を受けました。チームには7・8・9・10・11・12年のメンバーがおり、そのすべてがチームに貢献し、互いに励まし合っていました。私は特に新規加入の7・8・9年生の存在を嬉しく思っています。彼らの多くにとってフットサルは初めての経験で、その彼らが見せた進歩は瞠目すべきものでした。また、年長の、経験豊富な生徒たちは彼らがチームにとけ込む手助けをしてくれました。その彼らが、今では来年の主力メンバー候補になっています。来年も是非引き続き彼らと素晴らしいシーズンを送りたいと思っています。シーズンを通して皆さん全てが示してくれた献身、信頼、努力、スポーツマンシップに感謝します。このような素晴らしいアスリートの集団をコーチできたことを嬉しく思います。みなさん、「よくできました」

Campbell Boyd
Girls U18 Futsal Coach



次のページに続く

前ページの続き



U-18 フットサルチームのシーズンはなかなか厳しいものでした。開幕戦では勝利しましたが、その後は勝利を収めることができませんでした。しかし、多くの進歩を遂げることができました。例えば、選手たちは様々な技術や戦略を学び、試合中も柔軟にそれらを使いこなす事が出来るようになり、チームとしての一体感も生まれました。最終トーナメントでも残念ながら勝つことはできませんでしたが、チームは非常に熱く、相手チームを追い詰める素晴らしい試合を展開しました。シーズン中熱心にプレイしてくれた選手全員に個人的にも感謝をささげたいと思います。全員が決断力と忍耐力を発揮してくれました。私は、このような素晴らしい選手たちと共に活動し、コーチできたことを誇らしく思うとともに、来年度も活動を継続できないことを残念に思います。次のシーズンのコーチが誰であれ、皆さんを私ができなかったレベルに導き、成果を達成できることを願っています。KISTで皆さんと関わる機会を私に与えてくださったことに感謝します。

Jude Ross
U18 Soccer Coach

KISTベースボール

今年、KIST野球チームは5月15日にセントメリー・インターナショナルスクールと親善試合を行いました。最初のイニングでチームのバッター、Kenta、Jo、Hae Soo そして Hiromasaが相手チームのピッチャーをとらえ、最初の3点をとりました。また、我がチームのエースピッチャーKentaが、5イニングで8個のストライクを取りました。とても興奮する、素晴らしい試合でした。しかし、残念ながら、6番目のイニングで、7-6で負けてしまいました。チームの皆さん、よくやりました！！皆さんは素晴らしい努力と、スポーツマンシップを発揮しました。

Aki Nogami



スポーツ賞

U14 女子最優秀選手

Asami (G8B)

- U14 ISTAA Girls Volleyball Team Captain
- U14/18 ISTAA Girls Basketball Team Member
- 2015 ISTAA Champions, Yokohama J/V Tournament Runners Up
- U14/18 ISTAA Girls Futsal Team Member



U14 男子最優秀選手

Shin (G8A)

- U14 ISTAA Boys Basketball Team Captain
- U18 ISTAA Boys Basketball Team Member
- 2015 ISTAA Champions, Yokohama J/V Tournament Champions
- U14 ISTAA Boys Futsal Team Member



U18 女子最優秀選手

Megan (G11B)

- U18 ISTAA Girls Volleyball Team Member
- U18 ISTAA Girls Basketball Team Member
- 2015 ISTAA Champions, Yokohama J/V Tournament Runners Up
- U18 ISTAA Girls Futsal Team Member
- SRC Sport Committee Leader



U18 男子最優秀選手

Motoi (G11B)

- U18 ISTAA Boys Volleyball Team Captain
- U18 ISTAA Boys Futsal Co-Captain



女子最優秀卒業選手

Keerti (G12B)

- U18 ISTAA Girls Volleyball Team Captain
- U18 ISTAA Girls Basketball Team Captain
- 2015 ISTAA Champions, Yokohama J/V Tournament Runners Up
- U18 ISTAA Girls Futsal Team Member
- SRC Sport Committee Member



男子最優秀卒業選手

Rei (G12B)

- U18 ISTAA Boys Basketball Team Member
- 2015 ISTAA Champions
- U18 ISTAA Boys Futsal Co-Captain and Player Coach



カレッジガイダンスニュース

Spring College Fair 2015

3月21日に開催された第三回春の大学フェアに多数お越しいただきましてありがとうございました。大学のブースを訪ね、大学代表者の方から直接いろいろな情報を得ることができたのではないかと思います。今年も日本、アメリカ、イギリス、オーストラリア、シンガポールなど世界各国から23大学から30名以上の代表者(教授、アドミッション担当者、同窓生、現役大学生)の方々が参加されました。大学代表者の方たちは当校の生徒、保護者の方々が熱心で、とても楽しかった、来年もぜひ来たいですと皆さんおっしゃってくださいました。今年もPTAにはフェア後のレセプションの準備をお願いし、美味しい軽食と飲み物を用意していただきました。ありがとうございました。来年のKIST Spring Fair 2016は2016年3月21日です。ぜひ今からカレンダーにしるしをつけておいてください。

2015年度卒業生大学合格実績

今年もすばらしい年になりました！2015年の卒業生29名のうち、在学中に24名が大学に出願し、世界中の66大学から92の合格をいただきました。(大学リストは次ページをごらんください)。まだ、結果を待っている生徒や、卒業後にオーストラリアやアジアの大学に出願する生徒、またギャップイヤーを選択した生徒もいます。

おめでとうございます！皆さんのますますの成功と活躍をお祈りしています。

Mrs Keiko Okude
College Guidance Counselor
keiko.okude@kist.ed.jp



卒業生ニュース



Shreya Deshmukh (Class of 2011) がこのほど、ポストン大学の Trustee scholar (全額奨学金付与生) としてポストン大学の Kilachand Honors College を卒業し、バイオメディカルエンジニアリングの学位を '*magna cum laude*' (優等) で取得しました。彼女は4年間8学期間 (!) ずっと優等生名簿に載り続けました。また National Engineering Honor Society '*Tau Beta Pi*' と National Biomedical Engineering Honor Society '*Alpha Eta Mu Beta*' のメンバーにもなりました。マサチューセッツ工科大学とスタンフォード大学の博士号コースに合格し、今年9月からスタンフォード大学でバイオエンジニアリングの修士・博士ジョイントコースに進学します。



卒業生大学合格実績

KIST 2015年度

*奨学金付き合格 (合格生徒数)
2015年5月23日時点のもの

UK

Bangor University
Durham University
Glasgow School of Art
Imperial College London
Kings College London
Lancaster University
Leeds College of Art
University of Aberdeen
University of Bath
University of East Anglia
University of Edinburgh
University of Essex (2)
University of Exeter
University of Kent
University of Leicester
University of Manchester
University of Nottingham
University of St Andrews (2)
University of Sussex
University of Warwick
University of York (2)

EU

Amsterdam University College
University of Utrecht College

USA

Academy of Art University
Birmingham Southern College*
Boston University*
Brandeis University
Brown University
California College of Arts (2)
California State University, Long Beach
California State University, Los Angeles
Columbia University
Florida Institute of Technology*
Fontbonne University
George Washington University
New York University
North Carolina State University (2)
Northeastern University* (3)
Occidental College
Pacific Lutheran University*
Pennsylvania State University

Pratt Institute

Princeton University*
Rensselaer Polytechnic Institute
Savannah College of Arts* (SCAD) (2)
School of the Arts Institute Chicago
Stanford University
Stevens Institute of Technology*
University of California (UC), Davis
University of California(UC), Santa Barbara
University of Illinois at Chicago
University of Massachusetts Amherst* (2)
University of Minnesota Twin Cities
Virginia Polytechnic Institute and State University
(Virginia Tech) (2)
Webster University
Whitman College
Worcester Polytechnic Institute (2)

CANADA

University Of British Columbia (UBC) (6)
University of Toronto (4)
University of Waterloo

JAPAN

International Christian University (ICU) (4)
Nagoya University
Sophia University (4)
Waseda University SILS

HONG KONG

Hong Kong University of Science and Technology*

SINGAPORE

Yale NUS College*



卒業生の声

Rio Kate BradleyはKISTの2014年度卒業生で、現在米国のBoston Collegeの総合文化優等学位プログラムで学んでいます。

私は大学の初年度のことを深く考えてはおらず、事前の準備もあまりしませんでした: チケットを用意して、浴室用スリッパと新しいスーツケース、大学で必要と思われる雑貨類を買って、それで終わりでした。

「まあいいや、どうせ出発は8月の終わりだし」

自分の出発日のことや家族と離れて暮らすことになるということは意識していました。入学許可証の後に貰ったもう一通の手紙で、私はボストンカレッジのHonors Programme(優等学位プログラム)に入ることが出来たと知らされました。私はとても満足でした。高校での努力が認められたと感じたのです。しかし、日本からマサチューセッツ、一度も行ったことがなく、正しく綴れるかもわからない土地に一人で行くのだという事実をなかなか受け入れることは出来ませんでした。

ローガン国際空港に到着したとき私はやっと自分が人生の岐路に立っているのだと悟りました。それでも大学どんなことが待ち受けているのかに本当に意味で理解することは出来ていませんでした。これまで3・4年毎に数校への転校経験がある私は、(愚かにも)大学が「他の学校」に過ぎないと考えていたのです。学習や課題量、友達を作ることについては特に心配していませんでした。友達を作るのは簡単だと考えていたのです: すで

に色々な授業を履修することになっていましたし、オリエンテーションでも新入生の多く似合っていました。そして共学寮に入ることになっているのですから友達は簡単に出来るだろうと思っていたのです。

しかし、授業初日にして同じクラスの友達を作るのは非常に困難だと悟りました。講義やゼミの間は完全に教授に意識を収集させています。ノートをとるのも精一杯で、だれも講義中に社交にいそしむことなど出来ないのです。また、学部生だけでも9100人いるキャンパスでオリエンテーションであった人たちを見つけること自体が困難でした。食堂、寮内、クラス内以外で知った顔を見かけることが出来るだけでも幸運といえるのです。大学では新しい人たちに会うことは簡単でも、友人関係を結び・それを継続することは難しいといえるでしょう。もちろん、だからといって友達を作ることが出来ないわけではありません。私は、これから3年の間にさらに親しくなると確信できる素晴らしい友人を作ることが出来ました。

学習に関して言えば、初年度の第2学期に二つの重要な事柄を学びました。一つは自分の専攻や副専攻に関係のない教科を受講すると考え方が(私の場合は生き方)が変わることです。「ロシア映画」を選択したことで人生が変わりました。これまで私は自称「映画恐」でした。私は映画と



優等学生会(特待生会)の催し、ボストンにてパレエ・クルミ割り人形を鑑賞。(左がRio)

は縁がなく、映画を見ることは2時間を無為に過ごす快樂主義的な行為だと思っていました。ソビエト・ロシアの作品を研究する講座を受講したことで、私は「ロシア狂・映画狂」になってしまいました。この授業を受講しなければまだTarkovskyが誰か、彼がどのような作品を作ったかを知らないままだったでしょう。次に、メンターを持つことの重要性を学びました。「バルカン半島におけるイスラムの変遷」の教授は私のメンターとなり、私にスラブ研究・東ヨーロッパ研究を副専攻とするように薦めてくださいました。私はこれまで自分がこんなに教授と親しく関わることができるとは考えてもみませんでした。これら2つのスラブ講座のおかげで私は現在スラブ研究を副専攻としており、来年の夏はブルガリアを旅する予定です。私は自分が新たに関心を持ったこれらの分野が私のこれからの人生に大きな影響を与えるだろうと確信しています。すべてが順調に行けば、私は自身の経済及び東ヨーロッパ研究の学位と知識、を将来的な進路である学術界での研究で融合させたいと考えています。

Rio Kate Bradley
Boston College
Arts and Sciences Honors
Programme
KIST Alumnus "Class of 2014"



ボストンカレッジのGasson Hall: キャンパスで最も愛されている建築で、Instagramでもこの建物のハッシュタグ(#gassongram)が使われています。



2018年度卒業クラスの一部。

ITニュース










2015-2016年度生徒のラップトップの必要スペック及び無線LAN接続について

KISTではMicrosoft Windows, Microsoft Office及びSharePoint Onlineを利用しています。教員と生徒が使用するパソコンの環境を揃えることによりスムーズな授業が行えると考えています。又、サポートに関しても充実させられることが出来ます。生徒が学校に自分のラップトップを持ち込んで使用する場合には下記の仕様を満たしていることが必須です。

過去3年の状況では先生が学校で用意したLaptopを使用して作成した課題がMac OSで動作しなかったという事がありました。スムーズに授業を進めるためにKISTではWindowsのハードウェアのみ使用許可することになりました。

新9年生、については新年度(2015/8)が始まるまでにWindows Laptopを用意する事が必須となっています。(Apple製品および各種タブレットについてはKISTの無線LANへの接続が許可されません)仕様を満たしている場合に限り1人が1台のラップトップを学校の無線LANに接続する為の登録を受け付けます。又、ラップトップ固有の情報を登録するので持ち込むラップトップが変わった場合には再度登録が必要があります。

2015-2016 年度生徒のラップトップの必要スペック

持ち込み対象	新9年生-新12年生の生徒は毎日ラップトップとアダプターを持って登校								
登録対象生徒	新9年生 2015年度から編入する新10年生、11年生、新12年生 現在登録済みの生徒で登録パソコンを変更したい場合								
ハードウェア	Windowsがインストールされたハードウェアに限ります。 登録出来ないデバイスはApple製品及びタブレット(メーカー問わず)。								
ハードウェアの最低基準	プロセッサ速度: 2.0 GHz 以上			ハードディスクの空き容量: 16GB以上					
	RAM: 2GB以上			画面サイズ: 13 インチ 以上					
	ビデオメモリ: 512MB以上			バッテリー: 4 時間以上					
	無線LAN: 必須								
オペレーティングシステム	Windows 8.1英語版 他のバージョンのWindowsを使用している場合には学校の所有している生徒用のアップグレードライセンスを使用してWindows 8.1Enterpriseへアップグレードが出来ます。(但し、使用しているパソコンによってアップグレードが出来ない場合があります。) 英語版の以外のWindows が動いている場合には忘れずにEnglish Language Pack をインストールしてください。 free via Windows Control Panel								
ウイルスチェックソフト	現在有効なNorton 360 (英語版のみ)								
マイクロソフト オフィスソフト	マイクロソフトオフィス 2013 Professional. KISTの生徒は在学中に限り無料で使用可能。								
									
	Word	Excel	Power Point	OneNote	Outlook	Publisher	Access	Skype for Business	OneDrive for Business
インターネット ブラウザ	MicrosoftインターネットエクスプローラーとFirefoxのみ(最新版)								
追加 インストール	追加ソフトウェア一覧 (http://www.kist.ed.jp/node/328)								

無線LAN利用の手順

学校の無線LANを利用するには以下の手順が必要です
 使用したいラップトップパソコンが上記の仕様を満たしていること
 必要とされているソフトウェアがすべてインストールされていること
[ノートパソコン登録フォーム](#)を提出する
 IT Officeで登録情報に間違いがないかのチェックを受ける

登録は生徒1名につき1台までとなり、ラップトップパソコンごとに必要となります。万が一修理等で一時的に別のノートパソコンを持ち込んで使用する場合にも上記の手順に従って登録する必要があります。
 ご質問等はITオフィスまでお願いします。

Family Day 2015



Saturday, May 23





KIST on Stage 2015

Friday, June 5

